「やる」「あげる」どちらをお使いですか

我が家では金魚を１匹飼っています。ある朝、私はその金魚に向かって「今えさをあげるね」と話しかけました。

そのとき私は「あげる」と言った自分に少し驚きました。

なぜなら日頃から、植木やペットには「あげる」という表現を使わないようにしていたからです。

「あげる」は敬意が必要な相手に使う「謙譲語」なので、目下の人（子ども）やペット、植木に敬語を使うのはおかしいと教えられてきました。

最近はどうなのだろうと思い調べていると、文化庁が実施している「国語に関する世論調査」を見つけました。

文化庁は，国語施策の参考とするため，平成７年度から毎年「国語に関する世論調査」を実施しています。

**■令和2年度「国語に関する世論調査」～どちらを使っているか～**

令和2年度の調査には「植木」「子ども」「相手チーム」について「やる or あげる」についての設問がありました。

**①** 植木に水をやる／植木に水をあげる

「植木に水をやる」が 63.5％で、「植木に水をあげる」（35.1％）を 28 ポイント上回っている。

②うちの子におもちゃを買ってやりたい／うちの子におもちゃを買ってあげたい

「うちの子におもちゃを買ってやりたい」が 34.5％で、「うちの子におもちゃを買ってあげたい」 （64.2％）を 30 ポイント下回っている。

③ 相手チームにはもう１点もやれない／相手チームにはもう１点もあげられない

「相手チームにはもう１点もやれない」が 76.6％で、「相手チームにはもう１点もあげられない」 （22.2％）を 54 ポイント上回っている。

**■言葉自体を丁寧に言いたいときに使う用法「美化語」という考え方**

定義はご存知でも、「やる」はちょっと横柄な言い方だから「あげる」のほうが使いやすいと思っている方もいらっしゃるのではないでしょうか。

また、「水をやる」ではなく「水やり」「水あげ」と名詞にすると言いやすい感じがします。

以前は敬語の誤用とされていたものが謙譲語から美化語に向かう意味的な変化は既に進行し、今では「買ってあげたい」は目上の人に対しての謙譲語ではなく、「買ってやりたい」の美化語として定着してきています。

清香会は子どもを一人の人として尊重することを大切にしています。

そう考えると子どもは目下ではなく同等であるので、「やる」よりむしろ「あげる」のほうがふさわしいのかとも思います。

今回「やる」「あげる」という表現には時代の流れで違う解釈が生まれていることを知りました。

ほかにも以前と違う使い方が定着している表現もありますが、用法は間違っていなくても、よくも悪くも相手をどう思っているかは言葉尻ににじみ出てしまうものです。

どのような相手に対しても、失礼のない対応・言葉づかいを心がけていかなくてはいけないと気を引き締めました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（飯塚）